

## 水との関係

沖繩県

宜野湾市立真志喜中学校 二年 雨宮 柊馬

みなさん「水魚之交」という四字熟語を知っていますか。「水魚之交」とは水と魚のように、切っても切り離せない関係のことを言います。それは、人間と水も言えると思います。人間は水を飲まなかったら、四〜五日で命を落としてしまうことになりす。そのため、水は生きるために欠かせないものとなっています。水は飲むため以外にも料理や洗濯などいろいろいるところで使われています。地球は「水の惑星」と言われているため、水は豊富にあると思う人が多々います。

しかし、水は不足しているのです。なぜ、「水の惑星」と言われているのに不足しているのでしょうか。現状と原因をまとめてみました。

水不足の人は、世界総人口が約七八億七五〇〇万人いるうち、四〇パーセントの人が水不足と言われています。そして二〇五〇年には人口は約九七億人になると言われているため、約半数は水不足となります。つまり、四人に一人は水不足ということです。なぜ、そのような状況になったのでしょうか。

原因とされていることが三つあります。一つ目は人口増加と産業発展です。人口が増えてしまうと水の使用量が増えてしまうこととなります。そして、工業や農業に水を利用することによって河川や海・地下水の汚染にもつながり、水は飲めるが病気になるってしまう、そのような水になってしまいます。

二つ目は気候変動です。これは、主に地球温暖化によるものです。地球温暖化は、降水量や雨の強さ、頻度も変わります。雨が全然降らなかつたら、海の水の量が減ったりしてしまいます。他にも雨だけでなく、水害やパイプなどに雪が積もってしまい水が各家庭などに送れなくなってしまうという影響も及ぼすかもしれません。

三つ目は水源が守れていないことです。都市化による水田破壊があるため、作物を育てることもできなく、食糧不足にもつながります。

これらの原因を少しでも防ぐために、身近なことではできないか考えてみました。まずは節水です。例えば、洗濯です。洗濯する時は、少しずつするのはなく、まとめてすることによって、節水を世界の一人一人がしたら、水不足に困っている人たちを救えると思います。

次に、積極的なゴミ拾いやボランティア活動への参加です。ゴミ拾いやボランティア活動は水を守るために関係ないのでは、と思う人がいるかもしれませんが。しかし、水不足には地球温暖化にも影響があります。例えば、川の周辺にあるゴミ、これをもし拾わなかったら、雨で川の水量が増え、海にまで流れ込んでいくと、魚の生態系や海の汚染に影響が及ぶ可能性があります。そして、みなさん自身も海にゴミを捨てないという意識を高めることが大切なのかと思っています。

最後に、作られた料理はしっかり食べるということです。だいたいの料理には水が含まれている料理ばかりです。だから、料理を残さずに、食べきれない分だけ作る意識も大切です。

水不足とは、とても深刻な問題になっています。人間と水は「水魚之交」という関係ですが、私たち人間が今まで行った行動による水不足だと思います。この水不足を解決するには、私たちが行ってきた行動、そして水との関係「水魚之交」を考え直して、この関係性が大切なのではないでしょうか。